

日本社会福祉学会中部ブロック部会 2017年度春の研究例会 開催要綱

1. 日時

2017年4月22日(土) 10:00~17:00

2. 会場

名古屋市総合社会福祉会館研修室

(名古屋市北区清水四丁目17番1号、名古屋市営地下鉄名城線「黒川」駅徒歩5分)

3. プログラム

(1) 第1部 大学院生・若手研究者のための勉強会 (10:00~11:00)

①寺崎千華氏(愛知県立大学大学院優秀論文)

「児童養護施設における『生い立ちの整理』の現状と意義に関する研究—全国の児童養護施設を対象とした実態調査より」

②山本綾子氏(日本福祉大学大学院優秀論文)

「メンタルヘルスリテラシー教育プログラムの開発及び効果検証」

③堤友香氏(名古屋市立大学大学院在学中)

「居所不明児童の市町村対応について(修士論文中間報告)」

(2) 第2部 自由研究発表 (11:10~12:50) ※報告15分、質疑10分

①大倉高志氏(東海学院大学)「親が自殺で亡くなった事実を子どもにどう伝えるか？」

②福地潮人氏(中部学院大学人間福祉学部)「社会福祉ガバナンスにおけるアソシエーションスウェーデンを事例に一」

③浅井千加志氏(岐阜県介護福祉士会)「リーダー職を目指さない職員たち~介護職における多様な将来ビジョンの意識調査~」

④岩満賢次氏(愛知教育大学)「地域福祉計画における生活困窮者支援制度の位置」

(3) 第3部 シンポジウム「相模原障害者殺傷事件から問い直す“社会”と“福祉”」

(14:00~17:00)

①記念講演「道筋を何度も作ること——7.26殺傷事件後」(14:05~15:05)

講師:立岩真也氏(立命館大学)

②パネルディスカッション(15:25~17:00)

パネリスト(予定)

・木全和巳氏(日本福祉大学)「語りにくい語りの背景にあるもの」

・森口弘美氏(同志社大学)「障害者の自立と支援——その実現に向けて」

・辻直哉氏(愛知障害フォーラム)「今だからこそ、地域生活をあきらめない」

コーディネーター:河口尚子氏(立命館大学)

(4) 日本社会福祉学会中部ブロック部会総会 (17:00~17:30)

問合先:中部ブロック部会担当理事・山田壮志郎(日本福祉大学) y-sosiro@n-fukushi.ac.jp